

< 豊かな体験活動を通じた、全教育活動における人権教育の展開 >

団体・学校の特徴	目指す学校像を「生徒、保護者、地域から信頼される学校」とし、「4つの礼節」（2分前準備完了、黙々と清掃、自分からあいさつ、はっきり「はい」と返事）を生徒も教師も大切にしています。				
所在地(市町村名)	入間市	会員数又は児童生徒数	195名	活動期間	2年
活動内容	文部科学省「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」に基づき、本校で展開される全教育活動の中で、人権感覚育成のための9つの視点を意識した学習活動を展開することで、生徒の人権感覚を育成することを目指しました。				

特徴的な活動

人権感覚を意識した授業



人権感覚育成プログラム

「人権感覚育成プログラム」は学校行事とも関連させながら、計画的、意図的、効果的に実践しました。「狭山茶とふれあう教育」や「地域とふれあう教育」は例年本校で取り組んでいる特色ある教育です。これらの取り組みを通して、人権感覚や「和敬清寂」の精神が育成されました。

地域とふれあう教育



育児体験



まごころ交流会

狭山茶とふれあう教育



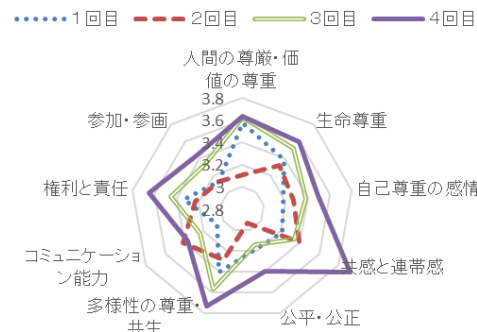
茶席体験



手揉み茶体験

「埼玉県版人権学習に係る質問紙調査」を年に2回、計4回実施し、生徒や学年集団の経年変化を考察しました。調査を実施するごとに、「9つの視点」の広がりが大きくなっています。

令和2年度2年生⇒令和3年度3年生



「埼玉県版人権学習に係る質問紙調査」結果